

目標達成に向けた具体的な取組の評価

① 収入増加・確保対策

項目	プランにおける行動目標	これまでの実施状況
ア 人口減少、高齢化等に対応するため医療内容の充実に努める	(ア) 健診業務の充実	令和2年度から脳ドックを再開させています。
	(イ) 新規導入・更新医療機器の積極的活用	MRI等の高額な機器については、月当たりの使用目標を設定し、毎月、確認しています。
	(ウ) リハビリテーションの拡充(がん患者リハビリテーションの施設基準の取得等)	がん患者リハビリテーションの施設基準を取得し、急性期後の患者を受け入れています。
	(エ) 糖尿病外来など、専門外来の設置による患者の獲得	医師は各種資格を取得し、診療に当たっています。
	(オ) 福祉施設等との連携強化による平均在院日数の適正化	在院日数は、患者の状態に合わせていますが、福祉施設等と連携し、さらに適正化を図っています。
	(カ) 在宅復帰に向けた訪問診療の推進	日程を定め、計画的に訪問診療を行っています。
イ 豊浜・豊地域からの利用者の増加を図る	(ア) 豊浜・豊地区の医療機関との連携強化	医師間の連絡や消防局による安芸灘4島の連絡会議に出席するなどしています。
	(イ) 豊浜・豊地区の福祉施設等との連携による健康講演会等の開催	作業療法士がまちづくりセンター等で開催しています。

② 経費削減・抑制対策

項目	プランにおける行動目標	これまでの実施状況
ア 職員のコスト意識の向上に努める	(ア) 院内での研修会(医療経営)実施	月1回、経営会議を開いています。
	(イ) 院外の研修への積極的な参加	事務長研修会に参加して、他の公立病院と情報を共有しています。
	(ウ) 時間外勤務の縮減(職員の相互協力)	月1回の経営会議で、時間外勤務の縮減を働きかけています。
イ 薬剤・医療材料費の削減に努める	(ア) 薬剤のジェネリック薬品への変更を推進	可能なものを変更しています。
	(イ) 在庫管理の効率化による更なる在庫の圧縮	薬剤や医療材料費の割合は、類似病院平均を下回っており、一定の成果がでていると考えます。
ウ 過疎地域に対する国の支援制度の活用	(ア) 医療機器の導入の際の過疎対策事業債の活用	一般会計が借入れた過疎対策事業債の病院事業対象経費分相当額を繰り入れています。
	(イ) 医師確保対策の人件費の一部への過疎対策事業債の活用	一般会計が借入れた過疎対策事業債の病院事業対象経費分相当額を繰り入れています。

③ 人材の確保・育成

項目	プランにおける行動目標	これまでの実施状況
ア 医師体制の拡充に努める	(ア) 大学病院との相互協力関係の強化	非常勤医師の派遣を得ています。
	(イ) 医師の人脈を活用した情報収集	医師確保について、情報を収集しています。
イ 職員のスキル向上及び処遇改善に努める	(ア) 教育マニュアルの作成、研修会への積極的参加	看護手順のマニュアルを作成するなどしており、専門技術の研修会に参加しています。
	(イ) 負担軽減のための環境改善や整備	看護師の負担軽減のため、看護助手を置いています。
	(ウ) ワーク・ライフ・バランスの推進	看護師等は、有給休暇を十分取得できていると考えます。